

令和 6（2024）年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における士別市の成果・課題について

【令和 7 年 2 月 10 日 士別市教育委員会（学校教育課）】

令和 6 年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、士別市においては、令和 6 年 4 月から 7 月までの期間で、市内全ての小・中学校で実施しました。

このたび、スポーツ庁および北海道教育委員会から調査結果概要の資料提供を受け、今後の児童生徒の体力・運動能力等の向上・改善に役立てるため、士別市教育委員会として結果分析の概要を次のようにまとめました。

1 調査の目的

士別市教育委員会は、本調査の目的からその意義を認め、定められた方法にしたがって調査を実施しました。国が示した本調査の目的は、次のとおりです。

- 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査 報告書」より引用

2 本調査実施に関する士別市教育委員会の基本的な考え方

士別市教育委員会は、本調査の目的や意義のもと、これまでの経過も踏まえ、定められた方法にしたがって、対象児童生徒の在籍する市内全ての小・中学校で調査を実施しました。今回の調査に関わっては、次の考え方をもとに結果分析等について公表します。

- (1) 本調査によって測定できるのは、体力・運動能力における特定の分野であり、学校での教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえ、学校の序列化や過度な競争につながらないよう十分配慮した上で、士別市全体として、実技の平均値、質問紙調査を含めた概略的な結果を公表します。

- (2) 本市教育委員会および学校は、本調査結果をもとに、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣の状況、課題などを把握・検証し、教育活動の充実・発展のために積極的に活用します。

3 調査の実施期間

令和 6（2024）年 4 月から 7 月までの期間で実施

4 調査対象

- (1) 小学校（6 校） 5 年生
(2) 中学校（4 校） 2 年生

5 調査内容

- (1) 実技に関する調査（小・中学校で各 8 種目）

【小学校】 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

【中学校】 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルランまたは持久走（男子1500m、女子1000m）、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

- (2) 質問紙調査

ア 児童生徒に対する運動習慣、生活習慣等に関する調査

イ 学校に対する児童生徒の体力・運動能力等の向上に係る取組に関する調査

6 本市の実施状況（児童生徒数は参加種目の最多人数）

小学校			中学校			総 数		
学校	児童数（人）		学校	生徒数（人）		学校	児童生徒数（人）	
6 校	男子	53	4 校	男子	51	10校	男子	104
	女子	50		女子	45		女子	95
	合計	103		合計	96		合計	199

7 実技に関する調査の結果（数値は平均値）

* 全国平均値を上回る値は青色で、下回る値は赤色で示しました。「R5 土別」は令和 5 年度に実施された前回の調査結果で、参考値として示したものです。その際、令和 5 年度の全国平均値を上回る値は青色で、下回る値は赤色で示しました。

* 全国、北海道、土別市の各数値はスポーツ庁から提供されたデータにより作成しています。

(1) 握力 (kg)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	16.01	15.77	28.95	23.18
北海道	16.78	16.41	29.29	22.81
土別市	16.64	15.76	34.02	23.80
R5土別	16.82	16.54	32.00	25.55

(2) 上体起こし (回)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	19.19	18.16	25.94	21.56
北海道	16.78	17.50	25.16	20.24
土別市	20.68	18.28	29.04	22.48
R5土別	21.91	16.38	27.97	22.90

(3) 長座体前屈 (cm)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	33.79	38.19	44.47	46.47
北海道	33.93	38.27	42.78	45.04
土別市	35.62	40.48	42.92	45.16
R5土別	34.18	39.53	46.54	46.33

(4) 反復横とび (点)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	40.66	38.70	51.51	45.65
北海道	41.06	38.88	49.28	42.98
土別市	40.17	39.04	53.45	46.44
R5土別	42.05	39.28	53.97	43.94

(5-1)20mシャトルラン (回)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	46.90	36.59	78.98	50.67
北海道	44.76	34.36	74.59	45.26
士別市	43.08	32.84	83.46	44.57
R5士別	53.55	39.28	77.63	48.28

(5-2)持久走 (秒)

	中学男子	中学女子
全 国	410.69	309.02
北海道	431.27	326.94
士別市	442.36	294.19
R5士別	420.26	372.05

※中学校の「20mシャトルラン」と「持久走」は各学校でどちらかを選択します。

小学生には持久走の選択はありません。

※中学男子1500m・中学女子1000m

(6)50m走 (タイム：秒)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	9.50	9.77	7.99	8.96
北海道	9.74	9.98	8.14	9.19
士別市	9.71	9.93	8.01	8.82
R5士別	9.42	9.84	8.08	9.14

(7)立ち幅とび (cm)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	150.42	143.13	197.18	166.32
北海道	151.60	143.56	195.17	160.40
士別市	146.23	136.94	199.38	168.79
R5士別	154.02	143.29	197.17	159.55

(8)ソフトボール投げ・ハンドボール投げ (m)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	20.75	13.15	20.57	12.40
北海道	21.33	13.40	20.14	11.75
士別市	22.51	12.06	21.40	12.24
R5士別	23.73	13.90	21.06	11.86

※体力合計点 (点)

※8種目の記録を点数化 (80点満点)

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	52.53	53.92	41.86	47.37
北海道	52.32	53.37	40.18	43.96
士別市	52.74	52.78	43.72	48.87
R5士別	54.71	54.76	44.56	45.38

8 士別市の実技に関する調査結果の概要

【T得点について】

T得点とは回数やm、秒などの単位等が異なる実技種目の調査結果を全国平均値を「50」として、それぞれの種目を比較するために数値化したものです。50を超える場合は全国平均値を上回り、超えない場合は下回ることを表しています。

【小学生の実技に関する調査結果】

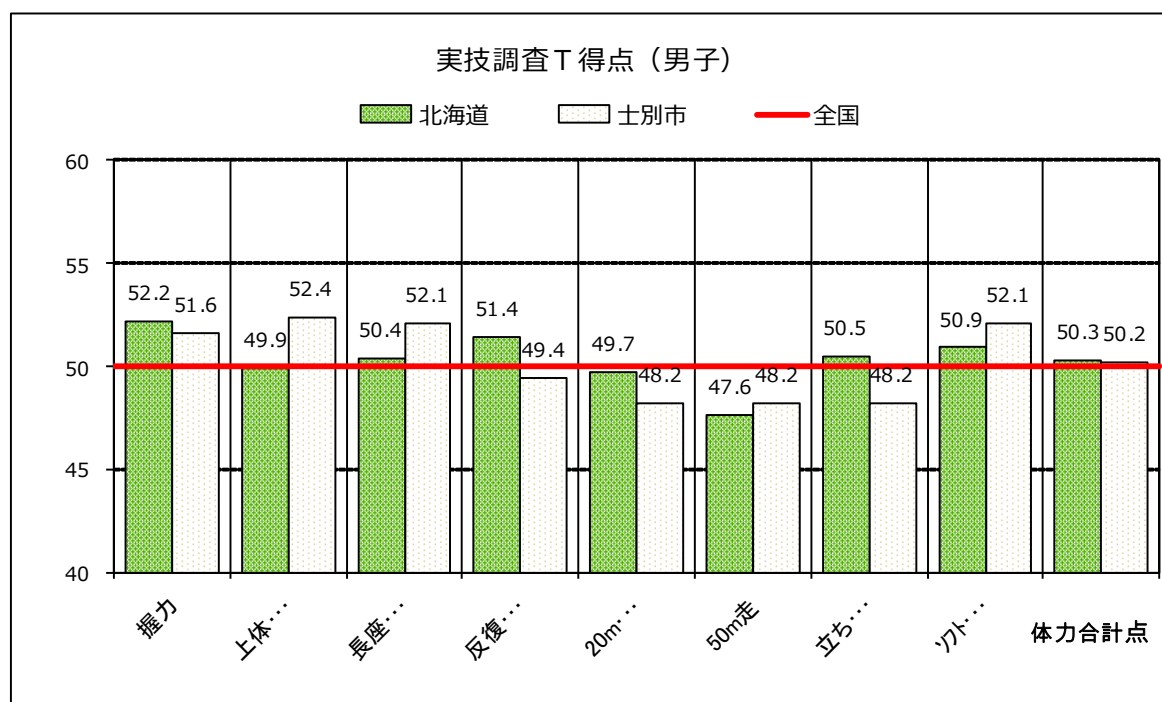
(1) 小学生のT得点

①小学男子のT得点の状況

小学男子では8種目中、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「ソフトボール投げ」の4種目で全国平均値を上回るとともに、「体力合計点」において全国平均値をやや上回りました。

下に示した小学男子の「実技調査T得点」のグラフで、各種目の全国平均値50（赤線）からの差を確認することができます。北海道平均値と士別市の関係については、棒グラフにおいて比較でき、「上体起こし」「長座体前屈」「ソフトボール投げ」で北海道平均値を上回っています。

令和6年度 小学5年男子のT得点

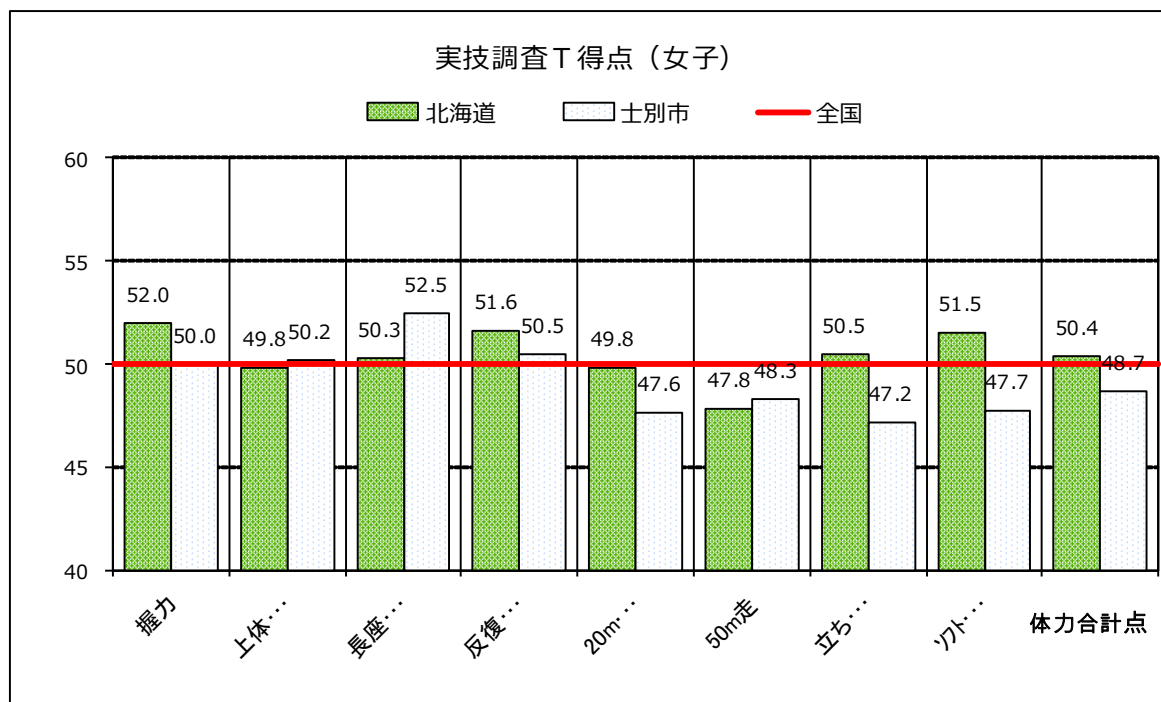


②小学女子のT得点の状況

小学女子では8種目中、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」の3種目で全国平均値を上回り、「握力」は同値でした。「体力合計点」において全国平均値を下回っています。

小学女子の「実技調査T得点」のグラフから、各種目の全国平均値50（赤線）からの差を確認することができます。北海道平均値と士別市の関係については、「上体起こし」「長座体前屈」において士別市が上回っています。

令和6年度 小学5年女子のT得点



【総合評価の基準（小学校・中学校）について】

総合評価は、各種目の記録を10段階に分け、10点満点とし、その合計8種目80点満点で、A～Eの5段階で評価するものです。

段 階	小学校（10歳）	中学校（13歳）
A	6 5 以上	5 7 以上
B	5 8 ～ 6 4	4 7 ～ 5 6
C	5 0 ～ 5 7	3 7 ～ 4 6
D	4 2 ～ 4 9	2 7 ～ 3 6
E	4 1 以下	2 6 以下

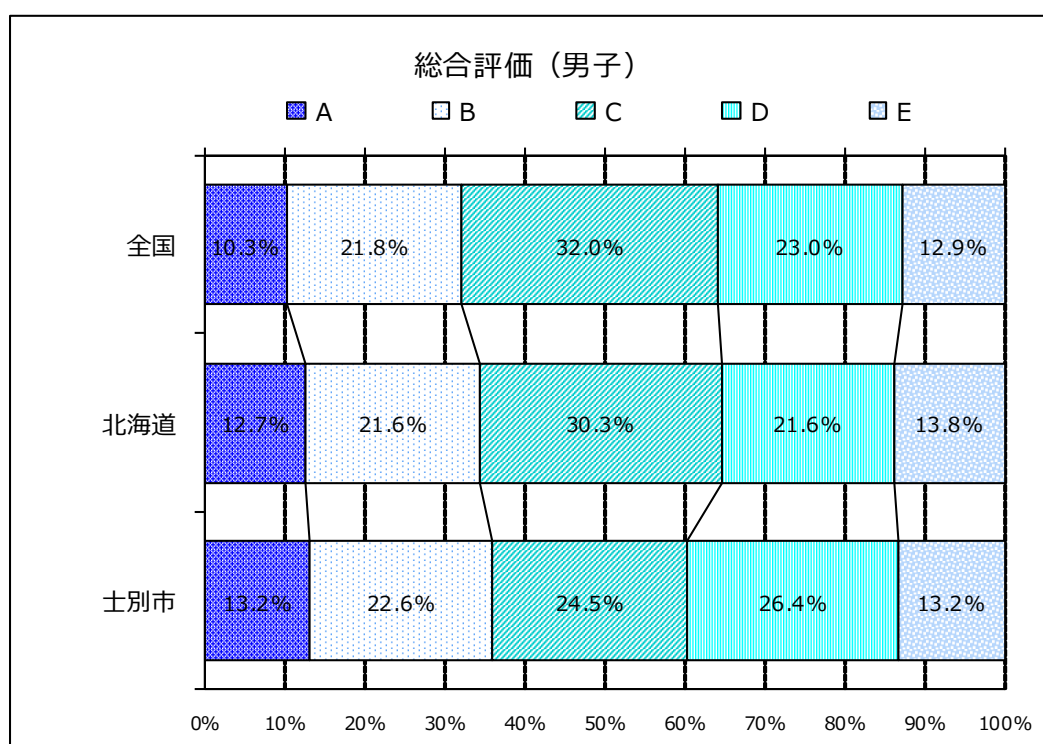
(2) 小学生の総合評価

①小学男子の総合評価の状況

小学男子の総合評価では、A・Bを合わせた割合、D・Eを合わせた割合は全国・北海道に比較して多く、Cの割合は全国・北海道に比べて少ない状況です。

このことから体力・運動能力の上位層・下位層が多く、中間層が少ない傾向が見られます。

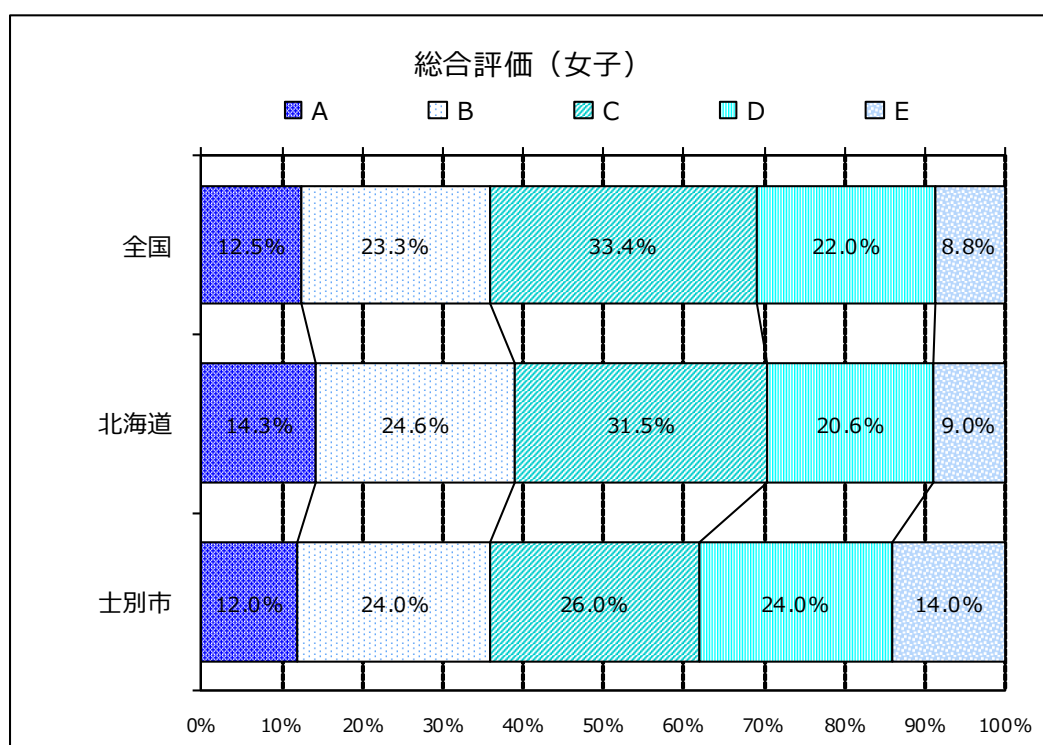
令和6年度 小学5年男子の総合評価



②小学女子の総合評価の状況

小学女子の総合評価では、ABを合わせた割合は全国と同程度ですが、Cが少なく、DEを合わせた割合が最も多く、全体の約4割を占めています。このことから体力・運動能力の中間層が少なく、上位層下位層が多い傾向が見られ、とりわけ下位層が多い状況です。

令和6年度 小学5年女子の総合評価



【中学生の実技に関する調査結果】

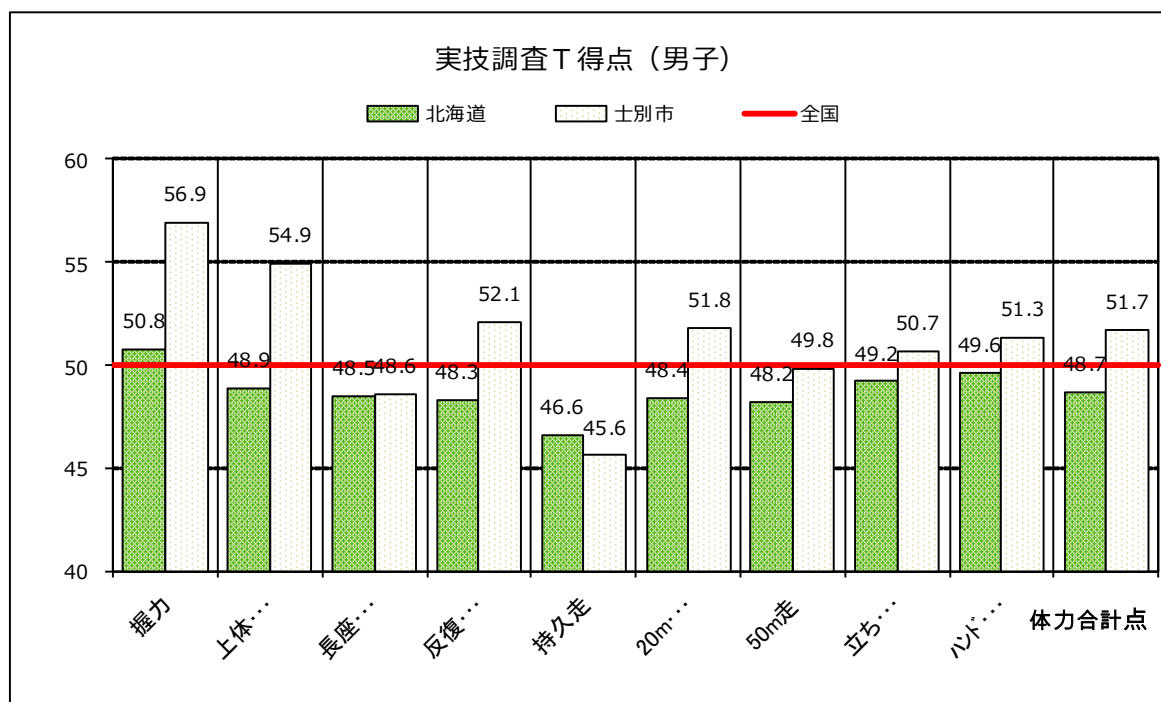
(1) 中学生のT得点

① 中学男子のT得点の状況

中学男子では「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」の6種目で全国平均値を上回るとともに、「体力合計点」においても全国平均値上回りました。

下に示した中学男子の「実技調査T得点」のグラフで、各種目の全国平均値50（赤線）からの差を確認することができます。「握力」「上体起こし」では大差があることが分かります。北海道平均値と士別市の関係については、棒グラフにおいて比較でき、「持久走」以外の種目および「体力合計点」で士別市が上回っています。

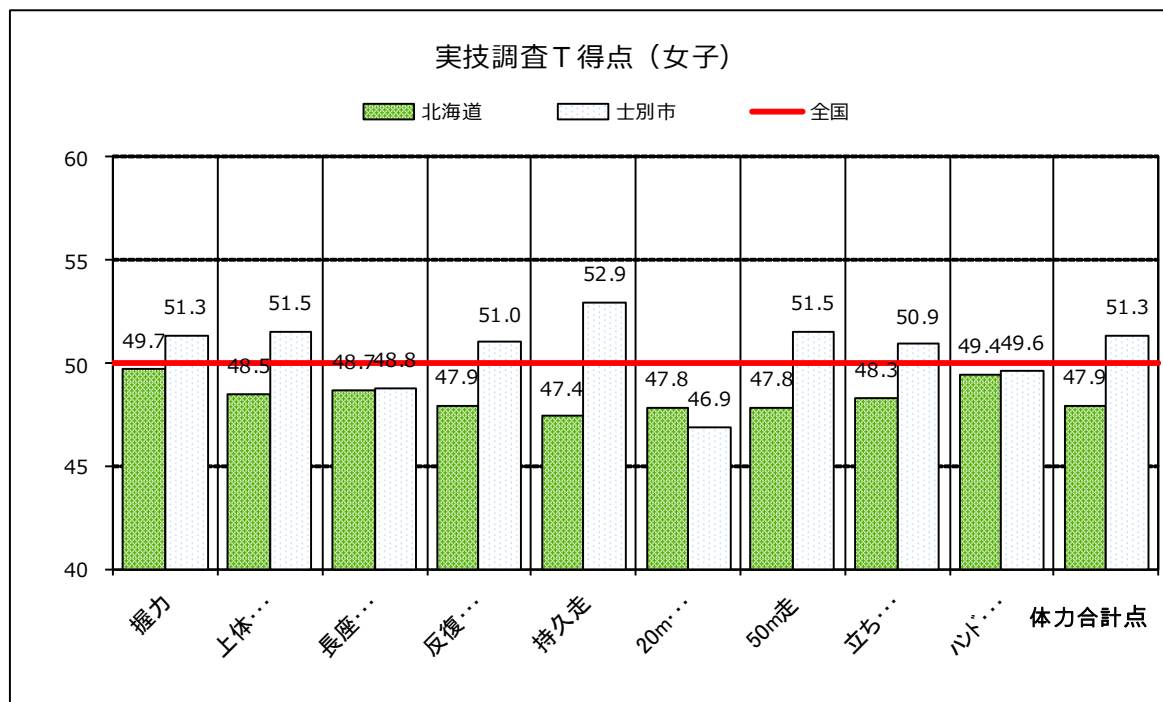
令和6年度 中学2年男子のT得点



②中学女子のT得点の状況

中学女子では、「握力」「上体起こし」「反復横とび」「持久走」「50m走」「立ち幅跳び」の6種目と「体力総合点」で全国平均値を上回りました。北海道平均値と士別市の関係については棒グラフから「20mシャトルラン」および「体力合計点」において士別市が北海道平均値を上回っていることがわかります。

令和6年度 中学2年女子のT得点

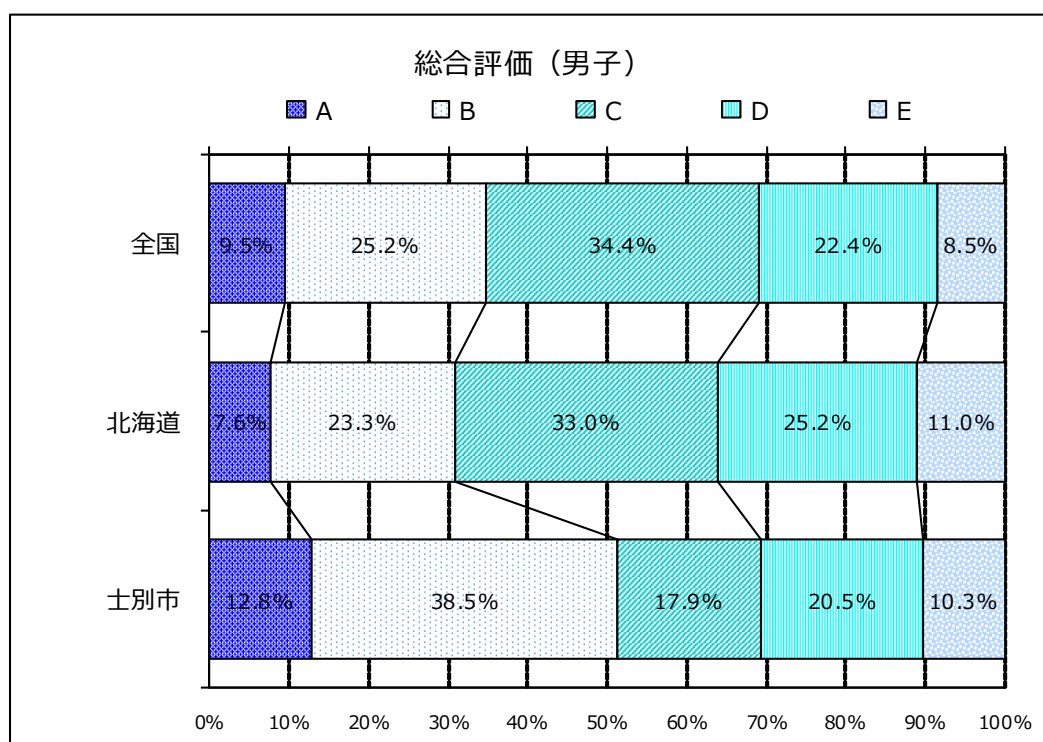


(2) 中学生の総合評価

① 中学男子の総合評価の状況

中学男子の総合評価は、AとBを合わせた割合が5割を超えています。DとEを合わせた割合は全国と同程度ですが、Cについては全国・北海道よりもかなり少ない状況です。このことから体力・運動能力は上位層が半数を占め、下位層は全国値と同程度で、中間層が少ないことが分かります。

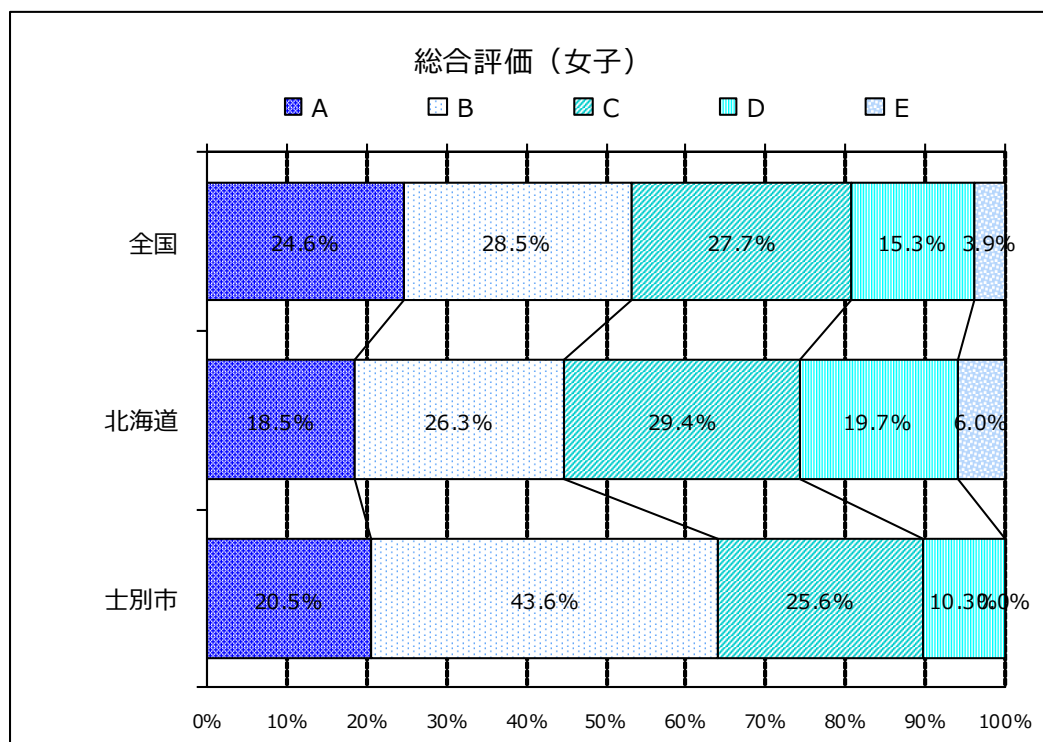
令和6年度 中学2年男子の総合評価



②中学女子の総合評価の状況

中学女子の総合評価は、AとBを合わせた割合が全体の6割以上を占め、全国・北海道の割合を大きく超えています。またCを含めるとABCで全体の9割程度となります。このことから体力・運動能力は上位層が多く、下位層が少ない傾向にあることがわかります。またEの生徒はいません。

令和6年度 中学2年女子の総合評価



9 体格と肥満に関する調査

(1) 小学校の体格と肥満について

小学生の体格に関する調査では、男女ともに身長では全国平均値・北海道平均値を下回っています。体重は、男女ともに全国平均値・北海道平均値を上回っています。肥満傾向児の出現率では、小学生は男女ともに全国平均値・北海道平均値を上回っています。痩身傾向児は男子が全国平均値・北海道平均値を上回り、女子は下回っています。その結果、正常の範囲にある男子は全国平均値・北海道平均値を下回り、女子は北海道平均値を上回るものの全国平均値は下回っています。

【小学5年生の体格平均値】

		体 格	
		身長 (cm)	体重 (kg)
男 子	全 国	139.53	35.16
	北海道	140.12	36.88
	士別市	139.33	36.71
	R5士別	140.34	36.78
女 子	全 国	140.96	34.92
	北海道	141.69	35.24
	士別市	139.33	36.06
	R5士別	142.95	35.97

【小学5年生の肥満傾向児・痩身傾向児の出現率】

		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)		
		肥満	正常	痩身
男 子	全 国	13.3%	83.8%	2.9%
	北海道	19.5%	78.1%	2.5%
	士別市	24.5%	71.7%	3.8%
	R5士別	11.1%	84.4%	0%
女 子	全 国	9.7%	87.2%	3.1%
	北海道	14.0%	82.9%	3.1%
	士別市	14.2%	83.7%	2.0%
	R5士別	9.7%	87.8%	2.4%

* 赤色は注意したい数字

(2) 中学校の体格と肥満について

中学生の体格に関する調査では、男子が身長、体重ともに全国平均値・北海道平均値を上回っています。女子は身長で全国平均値・北海道平均値を下回り、体重は全国平均値を上回り、北海道平均値を下回りました。

肥満傾向児の出現率では、男子が全国平均値を上回り、北海道平均値と同等で、女子は全国平均値・北海道平均値を上回っています。

【中学2年生の体格平均値】

		体 格	
		身長 (cm)	体重 (kg)
男 子	全 国	161.29	50.10
	北海道	162.15	52.00
	士別市	162.64	53.86
	R5士別	162.31	53.42
女 子	全 国	155.03	46.77
	北海道	155.30	47.52
	士別市	154.74	47.32
	R5士別	154.24	50.04

【中学2年生の肥満傾向児・痩身傾向児の出現率】

		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)		
		肥満	正常	痩身
男 子	全 国	10.1%	86.4%	3.5%
	北海道	13.6%	83.1%	3.3%
	士別市	13.6%	86.4%	0%
	R5士別	18.0%	80.6%	1.5%
女 子	全 国	6.9%	88.8%	4.4%
	北海道	9.2%	86.5%	4.4%
	士別市	14.1%	81.4%	4.7%
	R5士別	18.0%	80.0%	2.0%

* 赤色は注意したい数字

10 士別市の運動習慣、生活習慣等に関する調査結果の概要

(1)児童生徒に対する質問紙調査の概要

- 運動に対する意識等（4項目）
- 生活習慣に対する意識等（4項目）
- 体育・保健体育の授業に対する意識（10項目）

士別市教育委員会では、上記調査項目の中から道教委が調査結果概要版で取り上げた11項目について全国・北海道平均値と本市の児童生徒の回答を比較しました。また各数値についてはスポーツ庁から提供されたデータを使用しています。

- ①「**運動やスポーツをすることが好き**」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小中学校男女いずれも全国平均値よりも高いなか、士別市においては小学男子のみ全国平均値よりも高く、小学女子および中学男女は低い状況にあります。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	73.0%	54.8%	65.5%	43.2%
北海道	74.0%	57.7%	69.0%	44.1%
士別市	81.1%	52.0%	64.2%	42.0%

- ②「**運動やスポーツは大切**」と回答した北海道の児童生徒の割合については、小中学校男女いずれも全国平均値よりも高いなか、士別市においては小学男女は全国平均値よりも高く、中学男女は全国平均値よりも低い状況にあります。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	71.6%	59.0%	68.2%	49.3%
北海道	75.4%	65.7%	70.8%	50.5%
士別市	79.2%	80.0%	67.9%	48.0%

- ③「**中学校に進んだら（中学校を卒業した後）、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい**」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小中学校男女がいずれも全国平均値よりも高いなか、士別市においては小学男子のみ全国平均値よりも高く、小学女子および中学男女は低い状況にあります。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	66.7%	54.7%	60.2%	39.6%
北海道	67.8%	57.4%	61.3%	39.8%
士別市	73.6%	54.0%	54.7%	32.0%

- ④「**体育(保健体育)授業以外における1週間の総運動時間が60分未満**」と回答した北海道および士別市の児童生徒の割合は、小学校男女、中学男女ともに全国平均値よりも高い状況です。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	9.2%	16.0%	9.2%	21.4%
北海道	10.2%	16.4%	12.4%	25.8%
士別市	9.5%	26.0%	10.6%	27.1%

- ⑤「**平日に学習以外で画面を見ている時間が1時間未満**」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小学男女、中学校男女いずれも全国平均値よりも低いなか、士別市においては小学女子のみ全国平均値よりも高く、小学男子および中学男女は低い状況にあります。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	13.2%	18.1%	5.1%	6.1%
北海道	10.1%	13.3%	4.1%	4.6%
士別市	11.3%	20.0%	2.0%	2.0%

- ⑥「**体育（保健体育）の授業は楽しい**」と回答した北海道の児童生徒の割合は、中学校男子のみ全国平均値よりも高く、小学男女および中学女子で全国平均値より低い、士別市においては小中男子が全国平均値よりも高く、小中女子は全国平均値より低い状況です。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	75.0%	59.5%	57.4%	39.5%
北海道	74.4%	59.4%	57.9%	39.1%
士別市	77.4%	58.0%	68.0%	37.5%

- ⑦「**できなかったことができるようになったときに体育(保健体育)の授業が「楽しい**」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小学生はほぼ全国平均値で、中学生は全国平均値より高いなか、士別市においては小学男子のみ全国平均値よりも低く、小学女子および中学男女は全国平均値よりも高い状況にあります。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	81.7%	80.5%	78.2%	73.1%
北海道	81.4%	80.5%	80.0%	73.7%
士別市	80.8%	84.0%	83.0%	74.0%

- ⑧**体育(保健体育)の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習すること**で「できたり、わかったりする」ことが「いつもある」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小学男子のみ全国平均値よりも高く、小学女子および中学男女は低いなか、士別市においては中学男子のみ全国平均値よりも低く、小学男女および中学女子は全国平均値よりも高い状況にあります。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	34.9%	26.7%	32.9%	25.2%
北海道	35.9%	26.0%	31.2%	23.4%
士別市	58.5%	52.0%	30.8%	30.0%

- ⑨**体育(保健体育)の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習すること**で「できたり、わかったりする」ことが「いつもある」と回答した北海道の児童生徒の割合は、小学男女が全国平均値よりも高く、中学男女が低いなか、士別市においては、中学男子のみ全国平均値よりも低く、小学男女および中学女子は全国平均値よりも高い状況にあります。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	37.9%	34.5%	41.1%	37.7%
北海道	38.6%	35.0%	40.7%	36.3%
士別市	58.5%	42.0%	34.0%	42.0%

- ⑩**体育（保健体育）の授業で、タブレットなどのＩＣＴを使って学習すること**で、「できたり、わかったりする」ことが「いつもある」と回答した北海道および士別市の児童生徒の割合は、すべて全国平均値より高い状況です。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	21.7%	18.4%	23.0%	16.5%
北海道	24.4%	21.8%	26.0%	19.1%
士別市	22.6%	30.0%	43.4%	38.8%

- ⑪**体育(保健体育)の授業の最後で、その授業で学習したことを振り返る活動**があることで、「できたり、わかったりする」ことが「いつもある」と回答した北海道および士別市の児童生徒の割合は、すべて全国平均値より高い状況です。

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	36.3%	32.0%	31.4%	26.9%
北海道	37.0%	33.0%	32.0%	27.4%
士別市	51.9%	54.0%	41.5%	28.6%

(2)各小・中学校に対する質問紙調査の概要

- 体力向上の取組の状況（小中各10項目）
- 体育・保健体育の授業の状況（小中各11項目）
- 新体力テストの実施状況（小中各1項目）

士別市教育委員会では、上記調査項目の中から道教委が調査結果概要版で取り上げた11項目について、全国・北海道平均値と本市の小・中学校の回答と比較しました。（士別市は小学校6校、中学校4校と少ないため、士別市教育委員会では参考値と押さえています。）

- ①北海道の「児童（生徒）の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定している学校」の割合は、小・中学校はいずれも全国平均値より高いなか、士別市においては全ての学校で設定しています。

	小学校	中学校
全 国	83.6%	75.1%
北海道	95.4%	92.2%
士別市	100%(6/6校中)	100%(4/4校中)

- ②北海道の「体育（保健体育）の授業以外で全ての児童（生徒）の体力・運動能力の向上に係る取組を行っている学校」の割合は、小・中学校はいずれも全国平均値より高いなか、士別市においては全ての学校で取り組んでいます。

	小学校	中学校
全 国	80.9%	41.5%
北海道	91.1%	72.7%
士別市	100%(6/6校中)	100%(4/4校中)

- ③北海道の「体力向上や体育(保健体育)の授業に関する校内外の研修や研究会に参加し自校の運動能力の向上に係る取組に反映させている学校」の割合は、小・中学校はいずれも全国平均値より高いなか、士別市においては10校中9校で取組を反映させている状況です。

	小学校	中学校
全 国	80.9%	83.4%
北海道	82.2%	87.1%
士別市	83.3%(5/6校中)	100%(4/4校中)

- ④北海道の「児童生徒はできなかったことができるようになったときに体育(保健体育)の授業が楽しいと感じていると思う学校」の割合は、小・中学校はいずれも全国平均値より高いなか、士別市においては10校中8校で回答した状況です。

	小学校	中学校
全 国	92.4%	88.5%
北海道	95.0%	90.4%
士別市	83.3%(5/6校中)	75.0%(3/4校中)

- ⑤北海道の「授業の冒頭で、その授業の目標(めあて・ねらい等)を児童(生徒)に示す活動を取り入れている学校」の割合は、小・中学校はいずれも全国平均値より高いなか、士別市においては全ての学校で取り入れています。

	小学校	中学校
全 国	98.1%	99.2%
北海道	99.6%	99.8%
士別市	100%(6/6校中)	100%(4/4校中)

- ⑥北海道の「授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れている学校」の割合は、小・中学校はいずれも全国平均値より高いなか、士別市においては全ての学校で取り入れています。

	小学校	中学校
全 国	95.9%	97.8%
北海道	99.2%	98.8%
士別市	100%(6/6校中)	100%(4/4校中)

- ⑦北海道の「授業で、児童(生徒)同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れている学校」の割合は、小学校は全国平均値よりやや低く、中学校は全国平均値よりやや高いなか、士別市においては全ての学校で取り入れています。

	小学校	中学校
全 国	98.7%	98.5%
北海道	98.3%	99.0%
士別市	100%(6/6校中)	100%(4/4校中)

- ⑧北海道の「授業で、全学年において児童(生徒)同士で話し合う活動を取り入れている学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値より高いなか、士別市においては10校中9校で取り入れている状況です。

	小学校	中学校
全 国	65.5%	91.1%
北海道	82.6%	94.0%
士別市	83.3%(5/6校中)	100%(4/4校中)

- ⑨北海道の「授業で、ICTを週に1時間以上活用している学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値より高いなか、士別市の小学校においては6校中4校で、中学校では全校で活用している状況です。

	小学校	中学校
全 国	42.4%	56.8%
北海道	55.8%	81.7%
士別市	66.7%(4/6校中)	100%(4/4校中)

- ⑩北海道の「健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを適宜伝えている学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均値より高いなか、士別市においては全ての学校で伝えている状況です。

	小学校	中学校
全 国	93.5%	97.5%
北海道	98.9%	98.6%
士別市	100%(6/6校中)	100%(4/4校中)

- ⑪北海道の「新体力テストを調査対象の学年以外(対象学年の前学年)でも実施している学校」の割合は、小学校(第4学年)は全国平均値より高く、中学校(第1学年)では低くなっています。士別市においては、抽出の学年を含め小学1年生から中学3年生まで、全ての学年で新体力テストを実施しています。

	小学校(第4学年)	中学校(第1学年)
全 国	89.9%	95.4%
北海道	92.4%	85.5%
士別市	100%(6/6校中)	100%(4/4校中)

11 まとめと課題

学校質問紙調査から士別市では全ての小・中学校で「児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定」とするとともに、体育（保健体育）の学習においても、「授業の冒頭で、その授業の目標を示す」「授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る」という活動が定着していることがわかります。そのことが実技結果において小学男子4種目、小学女子3種目、中学男女ともに6種目が全国平均値を超える状況に繋がっていると考えられます。今後もこうした基本的な取組を継続し、各学年の新体力テストの変容を記録していくことが大切であり、今年度より小・中学校に1人1台端末を活用した「体力テストデジタル集計アプリ」を導入しています。

児童生徒質問紙調査からは「運動やスポーツをすることが好き」「運動やスポーツは大切」「中学校に進んだら（中学校を卒業した後）自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」等の設問では、いずれも中学生は小学生よりも低く、女子は男子よりも低いことが読み取れます。各学校は今後も「助け合ったり、教え合ったりする学習」や「タブレットなどのICTを使って学習すること」を効果的に取り入れ、「できなかったことができるようになった」成就感や楽しさを感じる授業を進めることが大切です。

体格と肥満における調査では小学男女、中学男女ともに全国平均値に比べて肥満傾向が高く、特に小学男子では全体の約1/4に肥満傾向が見られます。

士別市教育委員会は、これまで地域学校協働活動として「水泳・スキー授業にサポーターを派遣した学校体育への支援」や「少年団活動や部活動への支援（地域展開への検討を含む）」「本市に合宿している実業団の協力による陸上教室（小学生）・オリンピック教室（中学生）」などを実施してきており、こうした取組が児童生徒の運動能力の向上に結びついているものと考えています。

12 今後の対応

各学校においては、これまで成果を上げてきた様々な体力・運動能力の向上策を継続することを軸に、本市の傾向や分析を参考とし、自校の調査結果と重ね合わせ、新たな目標の設定や教育実践へとサイクル化し、導入アプリ等も活用して授業改善に取組、児童生徒の体力向上や健康な生活に生かすことが必要です。

一方、士別市教育委員会としては、これまでの学校支援を継続・発展させるとともに、児童生徒の運動の日常化を図るため、家庭との連携を強化することが必要と考えます。また、部活動の地域展開や生涯スポーツを見据え、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブをはじめとする地域での学校支援の取組を進めて参ります。

次に、具体策の一例を示します。

- (1) 体育エキスパート教諭（士別小学校勤務）や体育スペシャリスト教諭（士別中学校勤務）を講師等に活用した指導者技術の向上を図り、体育（保健体育）の授業において「できなかったことができる楽しい学習」や「友達と助け合ったり、教え合ったりする学習」を構築します。

- (2) 外部人材を活用した学校支援事業（水泳・スキー・部活動等）や実業団の協力による「陸上教室」「オリンピック教室」を継続的に実施します。
- (3) 中学校部活動においては、合同チームや拠点校方式など、希望する競技・種目に取り組むことのできる機会づくりに努めるとともに、文化部を含め、今後の部活動のあり方を見据え、スポーツ協会をはじめ、総合型地域スポーツクラブや各競技団体などとの連携を図ります。また小・中学生から高校への接続（連続性）も意識しながら、今後のスポーツ活動のあり方を「士別市児童生徒スポーツ・文化活動地域展開検討協議会」で熟議します。
- (4) 本市の「健康・スポーツ都市宣言」も踏まえ、本市における各種スポーツイベントへの家族ぐるみでの参加推進および日常的なスポーツ活動や運動習慣の啓発のもとで、市民皆スポーツによるウェルビーイングの実現を目指します。
- (5) 本市における「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果分析の概略を本市のホームページ上に公表し、各種取組を進めるなかで、体力・運動能力の向上や日常の運動習慣の定着を図ります。
-

【参考資料】

スポーツ庁

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1411922_00007.html



北海道教育委員会

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 調査結果のポイント

<https://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/174967.html>



* QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
